

授業科目名	老 年 看 護 実 習			担当教員	原田 紀美枝 千原 明美 姫野 稔子	
開講年次	3年後期	セメスター	6		時間数(単位数)	90 (2)
必修選択	必修	授業形態	実習		使用教室	
授業の目的	療養が必要となった高齢者を包括的に捉え、尊厳や生命の維持および QOL の向上を目指す援助を実践できる能力を獲得する。					
到達目標	1. 高齢者及び家族と良好な援助関係を築くことができる。 2. 高齢者の身体的・心理的・社会的特性を踏まえ、個別性を尊重した看護を展開することができる。 3. 高齢者の医療を支える職種の役割・機能および看護師の役割・機能を理解することができる。 4. 看護の現象を振り返り、それに基づいたそれぞれの老年観および看護観を言語化できる。 5. 自らの課題を認識し、課題解決に向けた目標を持ち、主体的に行動することができる。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	本科目は、レベルⅣ実習として位置づけられた科目である。レベルⅢまでに身につけた知識・技術を活用して実習に取り組むことが求められている。また、2 年後期老年看護Ⅰ、3 年前期老年看護Ⅱとは密接に関連している。患者や家族との関わりにおいて人間の尊厳と権利を擁護する力を養い、看護過程展開において問題解決力を養う。また、看護過程の展開において必要な知識を得るために自己教育力を養い、実習メンバー間や病棟スタッフとの関係の中で、チームで働く力を養う。さらに、老年観・看護観を考えることで看護の専門性を探究する力を養う。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
	◎	○	○	○	○	
授業計画						
回	授業内容		授業方法	学修課題 (予習・復習)		取組時間 担当者
	I. 実習方法 1. 実習期間 2 週間 2. 実習場所 今津赤十字病院、嘉麻赤十字病院、福岡聖恵病院、福岡赤十字病院、笠松会有吉病院 3. 実習の進め方 病院に入院している高齢者を受け持ち、看護過程の展開を行う。 【スケジュール】			【予習】 事前課題に取り組む。 ・老年医学の講義内容の振り返り ・高齢者に起こりやすい健康問題の講義内容の振り返り ・高齢者に関連する社会保障制度について ・看護過程 【取組時間の目安】 8 時間		原田 千原 姫野
		内 容				
	1 日目	臨地	オリエンテーション 受け持ち患者決定			
	2 日目	臨地	受け持ち患者の情報収集看護実践			
	3 日目	臨地	受け持ち患者の情報収集看護実践			
	4 日目	臨地	看護計画発表			
	5 日目	学内	計画修正や課題の確認			
	6 日目	臨地	看護計画発表			
	7 日目	臨地	看護実践の評価			
	8 日目	臨地	看護実践の評価			
	9 日目	臨地	臨地でのまとめ			
	10 日目	学内	まとめ、記録提出			

	II. 実習上の留意点 対象の特性から感染防止には特に注意しなければならない。学生自身が感染媒介となることを防止するために体調不良時には必ず医療機関を受診する。	
先行履修科目	3 年前期に開設するすべての必修科目	
テキスト	堀内ふき他：ナーシンググラフィカ老年看護学①高齢者の健康と障害。メディカ出版，2016. 堀内ふき他：ナーシンググラフィカ老年看護学②高齢者の看護実践。メディカ出版，2016. 鳥羽研二他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ老年看護 病態・疾患編。医学書院，2018.	
参考文献	山田律子他：生活機能から見た老年看護過程。医学書院，2012. 正木治恵他：パーフェクト臨床実習ガイド老年看護（第2版）。照林社，2017. 折茂肇他：高齢者の特徴的な症状と看護計画。メディカルビュー社，2008. 奥宮暁子他：生活機能のアセスメントに基づく老年看護過程。医歯薬出版株式会社，2015. 大塚真理子：カラー写真で学ぶ高齢者の看護技術。医歯薬出版株式会社，2014. その他、実習中に適宜提示する。	
評価方法	目標達成度：看護過程ルーブリック評価（DP 問題解決力）52% 実習態度（DP 人間の尊厳を擁護する力・自己教育力・チームで働く力・看護の専門性を探究する力）48%	
教員等の実務経験	高齢者を診療する医療機関で、看護師・看護管理者・退院調整看護師の経験がある教員が、その経験を活かして、臨地での実習指導を行います。	
メッセージ	受け持ち対象となる高齢者は、複数の疾患や障害を持ちながら、生活をされています。対象者が、健やかに、その人らしい老年期を過ごすために、どのような援助が必要なのかを考えてほしいと思います。	